

# 令和2年度(第17回)立川教育フォーラム

令和3年1月14日  
第3回総合教育会議  
教育部指導課

ねいこ

- 市民……立川市立小・中学校の教育実践を知り、学校教育への理解を深める。
- 学校……令和2年度における立川市民科等の取組を共有化し、令和3年度の教育実践に生かす。
- 市民・学校…「地域とともに歩む学校教育の在り方」について理解を深める。

令和2年度テーマ  
『思いをつなげ、未来を拓こう!』

## 立川市民科

立川市民科は、まちの担い手を育む、まさに主権者教育であり、郷土学習、キャリア教育を踏まえ、地域における課題解決型学習を通して、郷土を愛する心情や態度、伝統の継承と新しい文化の創造を担う力を養う。共通取組として「認知症サポーター養成講座」「立川シビック・プライド検定」「応急救護・普通救命講習」も進めている

児童・生徒実践発表

立川市小学生児童会サミット  
立川市中学生生徒会サミット

### 目的

○他校生との交流や討議を通して児童・生徒の自立を図り、立川市民としての資質・能力を育成する。



### 議題

デジタルツール(コンピュータ等)を使う生活及びコロナ禍の生活で、経験したり味わったりした課題や良さなどを伝え合い、よりよい生活や地域づくりに向け、何をすればよいかアイデアを出し合う。

児童・生徒実践発表

立川市立第八小学校

### 目的

○児童一人一人が見つけたファーレ立川のアート作品の魅力を世界に発信することを通して、自分たちが住む立川のまちを担う心情や郷土愛を育む。



児童・生徒実践発表

立川市立立川第八中学校

### 目的

○小・中学校の学びの連続性を重視し、災害訓練や交流授業、ボランティア体験などを通して、積極的に人や地域と関わり、まちを担っていこうとする態度を育てる



「ものの見方、考え方」を広げ、立川市の未来を担う児童・生徒を育成する

## 講演会「ものの見方、考え方が広がるアート思考」

講師 末永 幸歩 先生(東京学芸大学個人研究員)

立川市では、平成20年度より、市内の小学5年生全員がファーレ立川にある世界中のトップアーティストの現代美術コレクションを鑑賞する授業を行っている。また、本年度は、中学校1年生全員がたましん美術館の作品を鑑賞する授業を予定しており、児童・生徒の感性を育み、創造力を高めるため、本物の芸術作品との触れ合いを推進している。

末永幸歩先生には、アートがもつ大きな可能性とともに、アートを通して日常生活を豊かにする「ものの見方、考え方が広がるアート思考」についてご講演いただきます。

<末永 幸歩 先生プロフィール> 東京都出身。武蔵野美術大学造形学部卒業、東京学芸大学大学院教育学研究科(美術教育)修了。東京学芸大学個人研究員として美術教育の研究に励む一方、中学・高校で教壇に立ってきた。「絵を描く」「ものをつくる」「美術史の知識を得る」といった知識・技術偏重型の美術教育に問題意識を持ち、アートを通して「ものの見方を広げる」ことに力点を置いたユニークな授業を展開。現在は子どもから大人まで幅広い対象に向け、アートを用いたワークショップを行い、「美術って思考力を高める授業だったんだ」「答えは1つじゃないと感じて気が楽になった」と反響を得ている。著書にベストセラーとなった『自分だけの答え』が見つかる13歳からのアート思考(ダイヤモンド社)がある。

日時：令和3年2月13日(土)  
午後1時30分開始  
会場：立川市市民会館  
(たましんRISURUホール)大ホール

「立川教育フォーラム」とは…

平成16年度から、立川市の教育の充実と推進を図るため、保護者、市民、教職員が一堂に会して、市立小・中学校の実践等を紹介する場として、立川市教育委員会が毎年実施しています。

平成31年度テーマ「人がつながり、時がつながり、そして未来へ」

平成30年度テーマ「主体的・対話的で深い学びを支える

『つながり』について考える

平成29年度テーマ「主体的・対話的で深い学び」